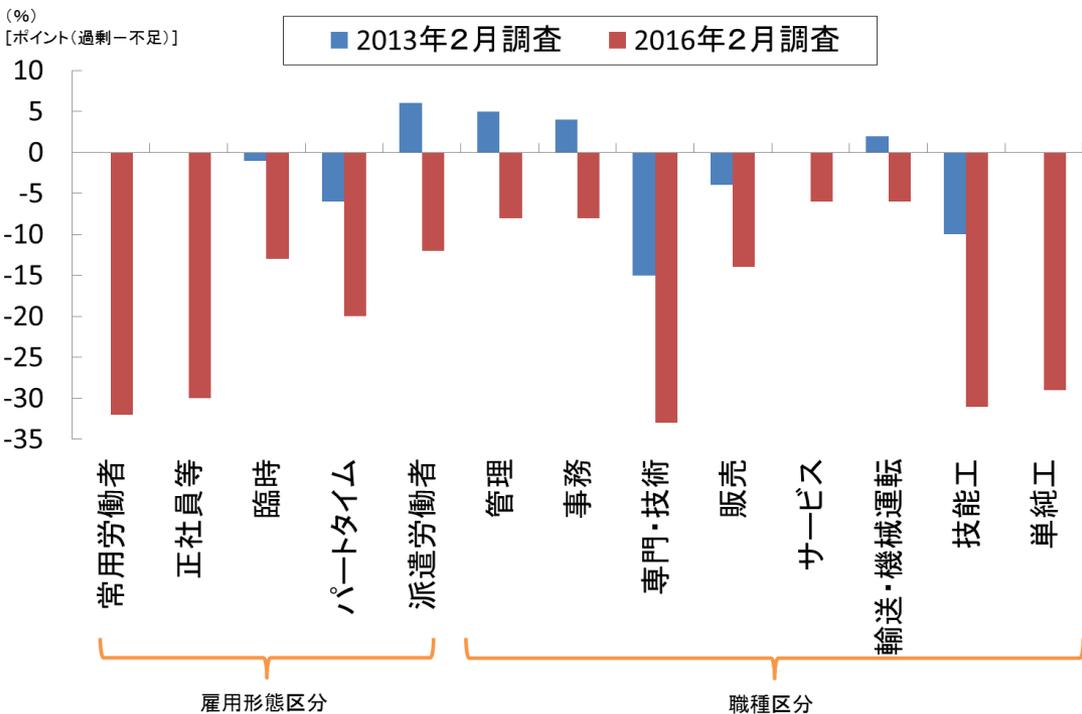


課題を克服する投資①(例:ロボット導入による省人化投資)

- 少子高齢化の進展によって製造業のどの職種領域でも人材の不足感が高まり、**労働供給面の制約が国内への生産回帰の制約要因**となっている。
- これまで省人化投資が進んでいなかった工程や作業にもロボット等の導入を広げていくことが重要。

【製造業における雇用形態、職種別人手不足DI】



資料:厚生労働省「労働経済動向調査」より経済産業省作成
備考:DI=「過剰」の事業所の割合-「不足」の事業所の割合。

【コラム】南部鉄器のホーロー加工にロボット導入 及源 Casting (株) (岩手県奥州市)

おいげん
南部鉄器(急須)に珪瑯(ほうろう)を塗る作業や、余分な珪瑯を取り除く作業を多関節ロボットが代替。
これまで、ホーロー加工はすべて手作業で行われてきたが、ロボットの導入により人手不足を解消し職人の負担を軽減。
また、生産量を大幅に拡大するとともに、職人の熟練度合の差異による品質のバラツキ解消にも対応。

